

森づくり通信

No.73

2024年 9月25日(水)発行 発行/金沢森づくりサポートバンク事務局
〒920-1301 金沢市永安町77番地 (金沢市林業振興協議会内)
TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



今年の夏も暑い！9月に入っても暑い！

どうしてこんなに暑いのだろうと思って暑い。ゲリラ豪雨や浸水、竜巻、落雷などの被害の頻度がますます増えて来たように思います。

熱いといえばパリオリンピック、パラリンピックも開催され、アスリートたちのここに照準を合わせ力を出し切る姿に感動しました。しかし勝負の世界なので残念な結果に涙した選手の姿も印象的でした。夏の甲子園、小松大谷高校の大阪桐蔭との試合はまさかまさか(失礼)の0封完勝。熱い夏でした。

かなりんが Instagram を始めました！イベント案内などをするのでぜひフォローしてみてください。



令和6年度 金沢森づくりイベント情報(一般参加可能分)

日程	イベント内容 (予定)	場所	問合せ先
10月12日(土)	きんしんの森づくり 草刈り、階段作り、秋の恵みをいただく	金沢市東原町	きんしん環境財団 076-231-7990
10月20日(日)	金沢農業まつり 新鮮農産物販売、竹細工ワークショップなど	金沢市松寺町	JA 金沢市本店 076-237-0641
11月4日(月・祝)	角間里山まつり 植栽、木工作、里山イベントなど	角間の里 (金沢大学内)	角間里山みらい 076-229-1131

7月27・28日(土・日) 夏休みこどもウッドアート

今年は会場を玉川こども図書館で行い、2日間午前、午後4回開催しました。市民親子107名が、金沢の森に生えていたスギの木でオリジナルのブックシェルフを作りました。

今年は開催日を土・日にしたこともあったのか、募集定員児童64名のところ492名の申込みがあり高倍率の抽選になりました。

最初に森のおはなしをした後、こども図書館の司書の方から森に関する絵本の読み聞かせを行っていただきました。



親子で協力して作ってもらう原則ですが、サポートスタッフを2組に1人つけ手厚くサポートして作ってもらいました。

タテに使えるコーナーシェルフ、ヨコに使えるブックシェルフになり、名前や日付を書いてシールも貼って完成させました。





森づくり出前講座 実施報告



森づくり活動や森林の講座などに「森づくり専門員」を派遣しています。

森林の役割や森づくりの進め方などについて、森づくり専門員が説明するとともに、森の中での体験学習などを行っています。

例えば小学校の総合学習の時間に森林環境教育や森林の公益的機能についての説明を行う、または森づくり活動の際に現地に出向いて技術指導をするなど、様々なテーマでの出前講座を実施しています。

森づくり出前講座の問合せ・申込みは 金沢市 森林再生課 TEL:076-220-2217 までお願いします

7/22 (月) げんきクラブ



小坂町のげんきクラブ児童45名を対象に森の出前講座を行いました。森が地球温暖化を防いでくれ、飲水も作ってくれる事を知ってもらいました

7/23 (火) デイサービスグッド



鱒町の放課後等デイサービスグッドの児童11名を対象に森の出前講座を行いました。森の話は短めにしてスギのコースター作りに時間をさきました。

7/30 (火) 粟崎児童クラブ



児童30名を対象に森の出前講座を市環境局と共同で行いました。環境局から地球温暖化の話をしてもらいその後森の話とコースター作りを行いました。

8/1・2 (木・金) 西南部児童クラブ



児童53名を対象に2日間とも森の話は共通ですが1日は高学年でノコギリあり、2日は低学年でノコギリなしでスギのネームプレートを作ってもらいました。

8/1 (木) めいせい児童クラブ



児童18名を対象に3年生はマルチスタンド、1、2年生はネームプレートづくりを行い、森の大切さも知ってもらいました。

8/5 (月) 中村児童クラブ



児童24名を対象に地球が熱くなるのを防ぎ、私達の飲水を作ってくれる森の大切さを知ってもらい、ネームプレートをシールなどで飾り完成させました。

8/6 (火) ほしぞら学童クラブ



児童32名を対象に環境政策課と共同で地球温暖化の話と雨水のぼうけんの紙芝居で、森が飲水を作ってくれることなどを説明しました。

8/6 (火) にこにこ児童クラブ



金沢市松村のにこにこ児童クラブ児童29名を対象に森のお話と金沢で育ったスギの木でネームプレートを作ってもらいました。

8/8 (火) ひまわりクラブ



涌波のひまわりクラブで28名の児童を対象に森は地球が熱くなるのを防ぎ、木は二酸化炭素の缶ヅメなので、木を育て永く使うことは大切だと話をしました。



森づくり活動 実施報告



元気な森林を守り育てるため、森づくり活動を行っています。

森林は、私たちの暮らしを守り、様々な恵みを与えてくれます。しかし、手入れ不足や放置されることで森林は荒廃が進み、その働きが充分発揮できず森の恵みや生物の多様性も損なわれます。

大切な森林を守り育てるため、一般市民、企業、地元、NPO法人等の協力を得て森づくり活動を行っています。

<問い合わせ先>金沢森づくりサポートバンク事務局 または 金沢市森林再生課 TEL:076-220-2217

8/9 (金) セカンドプレイス Hikari



児童17名を対象に環境政策課と共同で地球温暖化の話と、森が温暖化を防ぎ水と森は深く結びついていることをSDGsの事もあげて説明しました。

8/19 (月) 内川児童クラブ



児童8名を対象に森の話の後、低学年は事前クギ穴を開けたマルチスタンド、高学年はミニプランター作りに挑戦しました。

8/20 (火) 東浅川児童クラブ



児童23名を対象に森の出前講座を行いました。森の大切さの話の後、金沢の森で育ったスギのコースターを磨いてもらいネームプレートを作りました。

8/21 (水) 星の子大徳クラブ



児童42名を対象に森の話の後、高学年はノコギリでスギの円柱材を切る所から行い、低学年は切ってある円柱材を磨いてネームプレートを作りました。

8/21 (水) 星の子木曳野クラブ



児童37名を対象に森の出前講座を行いました。低学年は事前に切ってあるスギのコースターで高学年は円柱材を切って磨いてからネームプレートを作りました。

8/22 (木) 浅野川びよんびよんクラブ



児童44名を対象に森の話とおいしい水を作ってくれる紙芝居「雨水のぼうけん」を見てもらい、スギのコースターでネームプレートを作ってもらいました。

8/22 (木) 第2 浅野川びよんびよんクラブ



児童51名を対象に地球温暖化を防いでいる森の話を行い、今日作るスギのネームプレートも二酸化炭素のカンヅメなので長く使うことも大切と話しました。

8/23 (金) たんぽぽクラブ



児童32名に環境政策課とコラボで地球温暖化を防ぐ森の働きを説明しました。スギの材料を一生懸命磨いてネームプレートを作りました。

9/14 (土) ダンロップの森づくり



ダンロップタイヤ北陸カンパニーの皆さん23名が参加し、草刈り中心の森づくり活動を行い、カラマツ植栽地のメンテナンスと看板の修復も行いました。

10月8日(火)より金沢林業大学校第9期研修生(令和7年4月入校)を募集します！

金沢市では、中山間地の活性化・次世代の森林管理と林産物生産等の担い手を育成するため、金沢林業大学校を運営しています。今回、第9期研修生(令和7年4月入校)を募集しますので、金沢森づくりサポートバンク登録者の皆様にお知らせします。

受講料は無料(一部教材費など実費負担)で、実習中心の研修により、先進の経営者や生産者から、実践的な技術や知識を学ぶことができます。

林業への就労を目指す方向けに「林業専門コース」、持ち山管理や地域の森づくりなど林業の基礎を習得したい方向けに「林業基礎コース」があります。両コースとも2年制で、必要な資格を無料で取得できるほか、機材の購入費などの支援があります。詳細はHPをご覧ください♪

【お問い合わせ】金沢林業大学校 事務局

TEL:076-229-1720 FAX:076-229-1172 MAIL:academy@kanazawa-forest.com

金沢林業大学校



刈払機・チェーンソー 講習会のお知らせ

講習の種類	開催日	開催場所	締切日
刈払機取扱作業安全教育	令和6年 11月1日(金)	石川森林文化 ホール	令和6年 10月22日(火)
伐木等業務(チェーンソー)特別教育	令和7年1月 15(水)~17日(金)	石川森林文化 ホール	令和6年 12月25日(水)

刈払機やチェーンソーを安全に正しく使うための講習会が実施されています。

登録会員の方には受講に対しての支援を行っています。希望される方はこの機会に是非受講下さい。

会場は石川森林文化ホール(金沢市東蚊爪1-23-1)で行います。

※お問い合わせ・お申し込みは、期日まで金沢森づくりサポートバンク事務局までお願いします。

※必ず金沢森づくりサポートバンクにお申し込み下さい。(直接申し込みは補助対象になりません)

編集雑記

「カマシ」

白峰地域でカマシと呼ばれている雑穀をご存知でしょうか？私達の小さい頃、臼で挽いて粉にしたものに砂糖を入れてお湯で練っておやつにしていました。

数年前に白峰にある県立白山ろく民俗資料館に入場したさい、いろり端で振る舞われ懐かしかったです。その後、白峰温泉総湯の向かいにある施設の菜さいでソフトクリームを食べた時、カマシの粉が50円ぐらいの値段でトッピングとして売られているのを見かけました。試しにトッピングして食べると香ばしくソフトクリームの味を引き立てる味わいでした。

名前のカマシは穂が鴨の足に似ているので、カモアシが変じてカマシになったと謂われていますが、正式名はシコクビエだそうです。

日本各地で固有の作物が失われてゆく現状と、懐かしさも相まって種が手に入ったので育ててみました。実がなるまでに育てましたが、その後の脱穀や糶摺りなどすべて手作業でとんでもない労力がかかりました。ミネラルなどの栄養分も豊富で、国内的にも希少な食材なので、機会があったらぜひご賞味してみてください。

金沢市森づくり専門員 加藤 八郎

